

【報告書】保育者の自己評価2025

縄 瀬 保 育 園

回答者	
0歳児クラス	3名
1・2歳児クラス	3名
3・4・5歳児クラス	3名

縄瀬保育園 2025年度 保育者の自己評価レポート

2025年度の自己評価結果：質の高い保育が実証され、「よくできている」「ほぼできている」という肯定的な自己評価が非常に高い。

保育の強み：理念の共有と子どもへの寄り添い



全クラス共通で「保育の理念・共生」への共感度が非常に高い。

障害の有無に関わらず共に育つ「共生」の視点が、全職員の共通認識として深く浸透しています。



0歳児クラス：
子どもの情緒への応答が
100%肯定評価。

赤ちゃんの笑顔やしぐさを慈しみ、言葉に丁寧に反応する姿勢が全職員で徹底されています。



3・4・5歳児クラスは
「自主性を育む環境作り」に自信。
子どもが自然に触れ、不思議に気づくような環境工夫が「よくできている」と高く評価されました。

連携と専門性の向上：さらなる成長への意識



職員間の連携・役割分担は、概ねスムーズに機能。

園員や主任との意思疎通、クラス内の備品管理において、多くの職員が責任感を持って取り組んでいます。



一部のクラスで「自己研鑽」と「保護者連携」に伸びしろあり。

1・2歳児クラス等で、日々の保育の振り返りや、地域・保護者との深い交流に「努力が必要」との声も。

クラスごとの自己評価の傾向



0歳児クラス
(3名)

構造的関わり、
基本的習慣の確立に
非常に強い自信。



1・2歳児クラス
(3名)

授業活動の保障は高い
が、多忙時の柔軟な
対応に課題意識。



3・4・5歳児クラス
(3名)

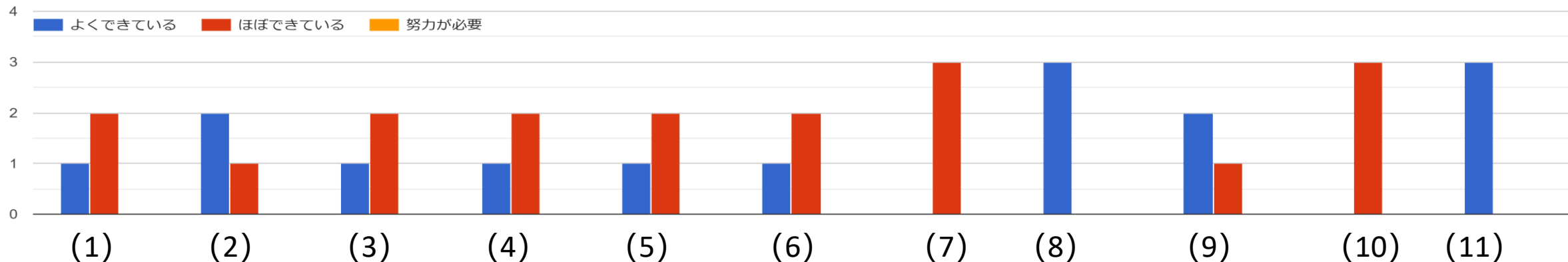
子どもの社会性・共同性
の育成と、学級進歩の
遵守を徹底。



行事を通じた
「子どもの力の発揮」を重視。
行事を単なるイベントではなく、日頃の
積み重ねの発表の場として反響の
場が共有されています。

【0歳児クラス】保育の理念・保育観について

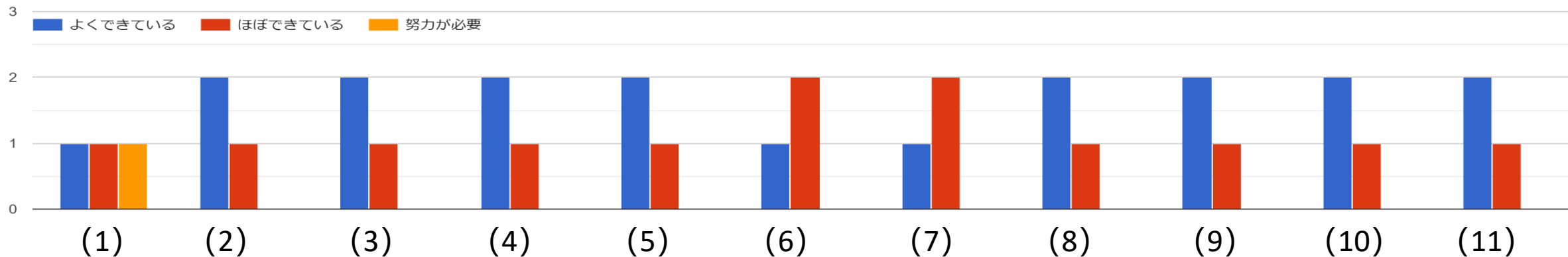
1. 保育の理念・保育観について



1) 子ども一人ひとりに、分かりやすい温かな言葉でおだやかに話しかけていますか。	2) 子ども一人ひとりが明るく伸び伸び遊べるよう、いつも見守っていますか。	3) 子どもが分からないことを尋ねたりできるように、ゆったりと子どもの言葉を聞き応答する雰囲気を作っていますか。
4) せかす言葉や制止させる言葉を不必要に用いないようにしていますか。	5) 基本的な生活習慣の習得にあたっては、子どもが自分でやろうとする気持ちを尊重して援助を行っていますか。	6) 基本的な生活習慣を身につけることの大切さについて、子どもが理解できるように働きかけていますか。
7) 子どもが興味や関心を示し、主体的に関わる環境を用意していますか。	8) 子どもの性差や個人差にも留意しながら、固定的な性別役割分業意識を植え付けることのないように配慮していますか。	9) 子どもが熱中しているときは、その時の保育の内容や流れに変更が生じて、危険のない限りその活動を見守るなどの柔軟性を持っていますか。
10) 子どもが自ら周囲に働きかけ、試行錯誤しつつ自分の力で行う活動を見守りながら、適切に援助していますか。	11) 障害がある子もそうでない子も「共生」「共有」の観点から、当たり前のこととして保育するという考え方にあなたは共感しますか。	

【1・2歳児クラス】保育の理念・保育観について

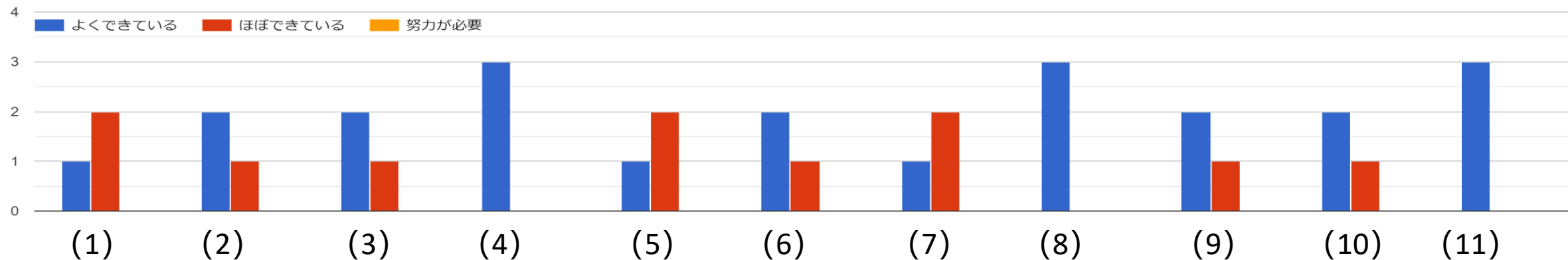
1. 保育の理念・保育観について



1) 子ども一人ひとりに、分かりやすい温かな言葉でおだやかに話しかけていますか。	2) 子ども一人ひとりが明るく伸び伸び遊べるよう、いつも見守っていますか。	3) 子どもが分からないことを尋ねたりできるように、ゆったりと子どもの言葉を聞き応答する雰囲気を作っていますか。
4) せかす言葉や制止させる言葉を不必要に用いないようにしていますか。	5) 基本的な生活習慣の習得にあたっては、子どもが自分でやろうとする気持ちを尊重して援助を行っていますか。	6) 基本的な生活習慣を身につけることの大切さについて、子どもが理解できるように働きかけていますか。
7) 子どもが興味や関心を示し、主体的に関わる環境を用意していますか。	8) 子どもの性差や個人差にも留意しながら、固定的な性別役割分業意識を植え付けることのないように配慮していますか。	9) 子どもが熱中しているときは、その時の保育の内容や流れに変更が生じて、危険のない限りその活動を見守るなどの柔軟性を持っていますか。
10) 子どもが自ら周囲に働きかけ、試行錯誤しつつ自分の力で行う活動を見守りながら、適切に援助していますか。	11) 障害がある子もそうでない子も「共生」「共有」の観点から、当たり前のこととして保育するという考え方にあなたは共感しますか。	

【3・4・5歳児クラス】保育の理念・保育観について

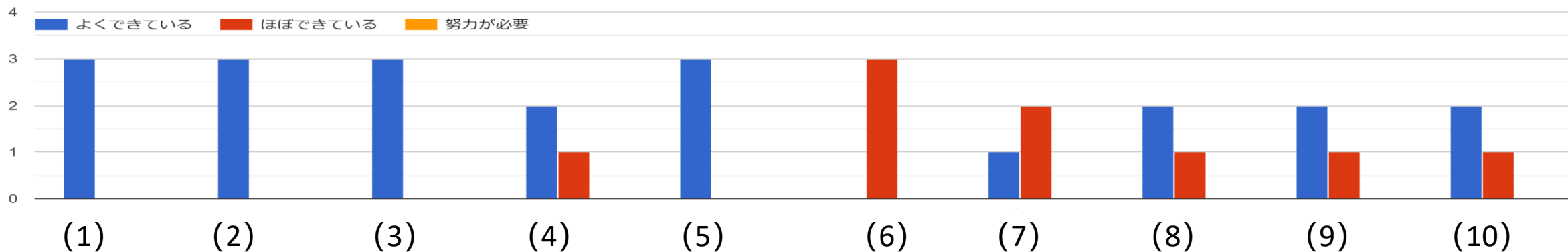
1. 保育の理念・保育観について



1) 子ども一人ひとりに、分かりやすい温かな言葉でおだやかに話しかけていますか。	2) 子ども一人ひとりが明るく伸び伸び遊べるよう、いつも見守っていますか。	3) 子どもが分からないことを尋ねたりできるように、ゆったりと子どもの言葉を聞き応答する雰囲気を作っていますか。
4) せかす言葉や制止させる言葉を不必要に用いないようにしていますか。	5) 基本的な生活習慣の習得にあたっては、子どもが自分でやろうとする気持ちを尊重して援助を行っていますか。	6) 基本的な生活習慣を身につけることの大切さについて、子どもが理解できるように働きかけていますか。
7) 子どもが興味や関心を示し、主体的に関わる環境を用意していますか。	8) 子どもの性差や個人差にも留意しながら、固定的な性別役割分業意識を植え付けることのないように配慮していますか。	9) 子どもが熱中しているときは、その時の保育の内容や流れに変更が生じて、危険のない限りその活動を見守るなどの柔軟性を持っていますか。
10) 子どもが自ら周囲に働きかけ、試行錯誤しつつ自分の力で行う活動を見守りながら、適切に援助していますか。	11) 障害がある子もそうでない子も「共生」「共有」の観点から、当たり前のこととして保育するという考え方にあなたは共感しますか。	

【0歳児クラス】クラスの実践について

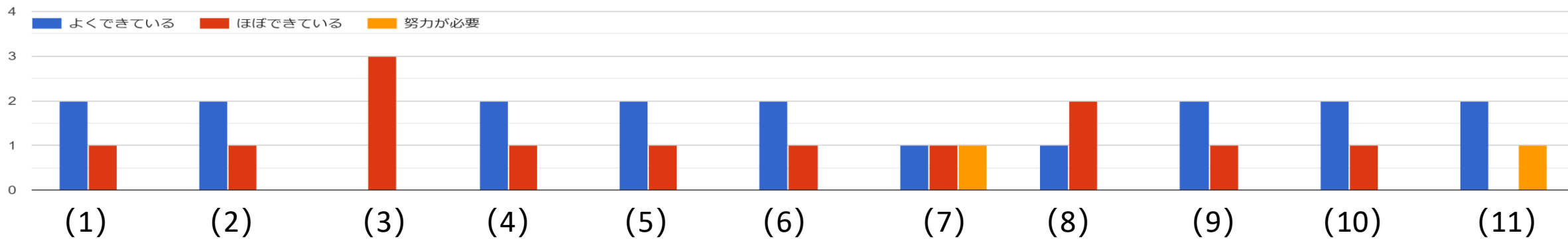
2. 0歳以上児クラスの実践について



1) あなたがどんな状態にあるときにでも、赤ちゃんの笑顔やしぐさをかわいいと感じることができますか。	2) 自分の服装の色合い、頭髪・爪などの清潔や、室内の清掃にも配慮していますか。	3) 赤ちゃんの目の動き、泣き声、しぐさ、片言をメッセージとして受け止め、ほほえみ、要求に応じる言葉をやさしく返していますか。
4) 喃語には、ゆったりと応えたり、やさしく話しかけたりして、発語の意欲を育てていますか。	5) 一人ひとりの生活リズムや欲求、その日の体調等を把握した上で、睡眠の時間を調節したりする柔軟性を持ち合わせていますか。	6) 一人ひとりの子どもの出生時の状況、その後の発育・発達など、生育歴を細かに把握するとともに、保護者の状況などの背景も理解していますか。
7) 哺乳瓶の消毒、調乳、沐浴の仕方など基本的な事柄や、子ども一人ひとりの健康状態などを、随時職員相互で確認し合っていますか。	8) 離乳食は、家庭と連携をとりながら、一人ひとりの育ち具合やその日の体調に合うように工夫していますか。	9) おむつ交換は「きもちいいね」などやさしく声をかけたり、マッサージしたりして、排便の回数、便性を把握して臀部を清拭していますか。
10) 絵本を見せながら、その子の指さすものに答えたり、やさしい言葉を添えたりして、あなた自らがそのやり取りを楽しむことができますか。		

【1・2歳児クラス】クラスの実践について

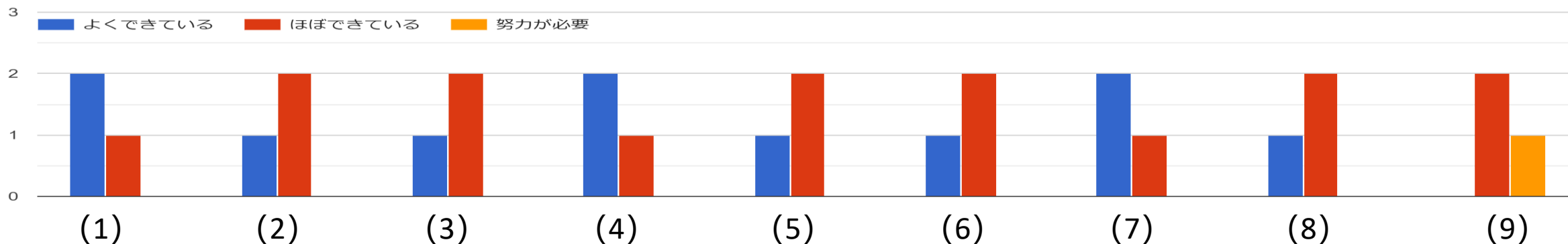
2. 1, 2歳以上児クラスの実践について



1) 子どもと会話をするとき、その子の目線に合わせて話をゆっくり聞いて、子どもの話したい気持ちや伝わった喜びを共感していますか。	2) あなたは自分の表情に配慮しながら、子どもにわかるように、ゆっくり、はっきり、おだやかに、具体的な短い言葉で語りかけていますか。	3) 探索活動が十分行えるよう、安全にはよく気を配りつつ、環境を整えたうえで、子どもが要求する行動を容認できていますか。
4) 着替えや食事などの時には、その子に応じた手助けや言葉かけをしながら、時間を要しても自分からしようとする気持ちを大切にしていますか。	5) 食べ物をこぼしたり汚したりしながらも、子どもが自分で食べる意欲を育てるために、楽しい雰囲気ですぐ食べさせることを第一に考えていますか。	6) 手洗い場・トイレは、明るく清潔で、子どもが利用しやすい設備を整え、安全への工夫をしていますか。
7) 散歩の時、保育者も一緒に楽しみながら、花や葉、虫や動物などを見つけたりして、子どもとともに自然物や動物への興味・関心を持つことを大切にしていますか。	8) あなたは子どもの「これなーに?」、「どうして?」などの繰り返しの質問に、忙しいときでもできるだけその都度応えようとしていますか。	9) 自分のことは自分でしようとする意欲を持つよう励ましたり、見守ったり、その後達成感を味わえるように配慮していますか?
10) 「できない、やって!」と甘えてくるときは、その都度、その子の気持ちを受け止め、一人ひとりの発達に応じて要求を満たす援助をしていますか。	11) 自分の思いどおりにならず、おこったり泣いたりする子どもに対して、ていねいに話してきかせたり、気持ちを切り替える時間を取り、ゆったりと待つことができますか。	

【3・4・5歳児クラス】クラスの実践について

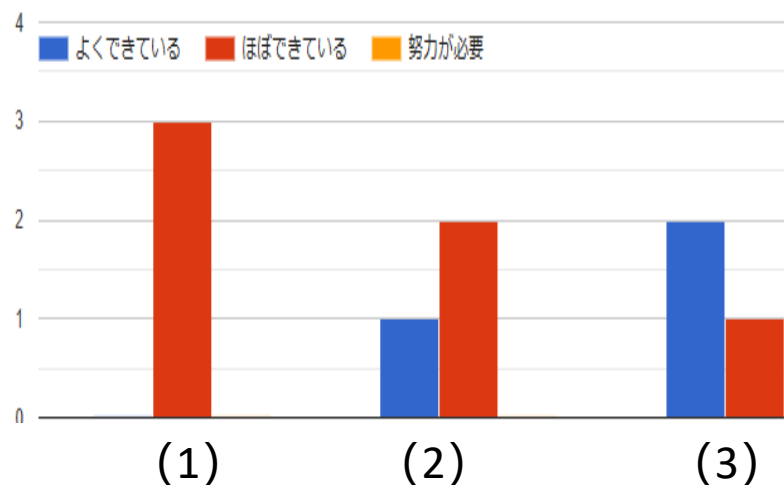
2. 3歳以上児クラス（3・4・5歳児保育）の実践について



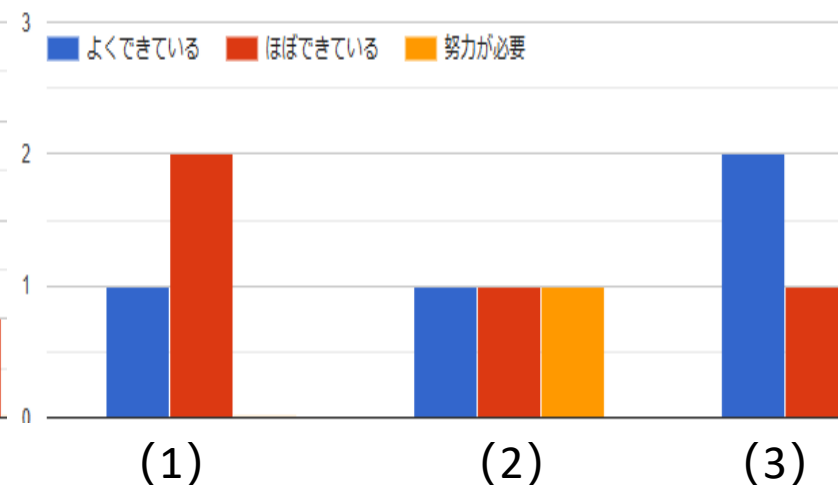
1) 子ども一人ひとりが、くつろいだり、落ち着ける場所がありますか。	2) 子どもたちが友だちと協同して活動できるように援助していますか。	3) 子どもが安心して自分の気持ちを表現できるように配慮し、対応していますか。
4) 自分を表現する力が十分でない子どもの気持ちをくみとろうとしていますか。	5) 手洗い場・トイレは、明るく清潔で、子どもが利用しやすい設備を整え、安全への工夫をしていますか。	6) 友だちと積極的に関わりながら遊び、喜びや悲しみを共感する機会を大事にしていますか。
7) 子どもが自然に観察したり触れたりする中で、その大きさ、楽しさ、不思議さなどに気付くように援助していますか。	8) 園生活の中で、自然や身近な事象に関心を持つことができるように、環境を工夫していますか。	9) 紙芝居や絵本、素話などを通して、物語の楽しさや言葉のおもしろさに気づくよう心がけていますか。

【全クラス共通】行事について

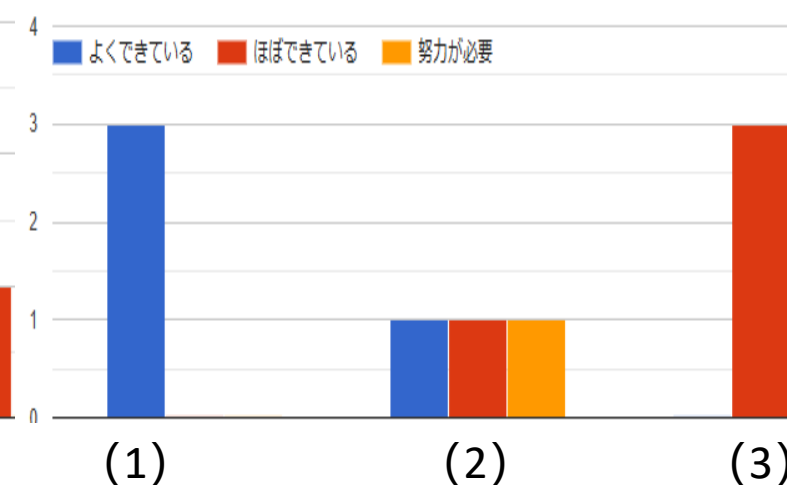
【0歳児クラス】



【1・2歳児クラス】



【3・4・5歳児クラス】



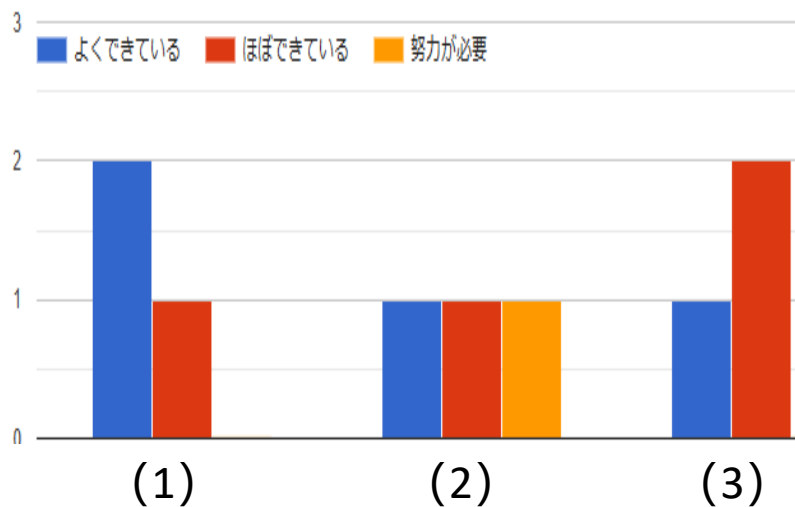
1) 「行事」はみんなで楽しむとともに、一人ひとりが十分に自分の力を発揮できるようになっていますか。

2) 「行事」が子どもの生活や遊びから発展していくように、日常の保育の積み重ねの結果となるよう心がけていますか。

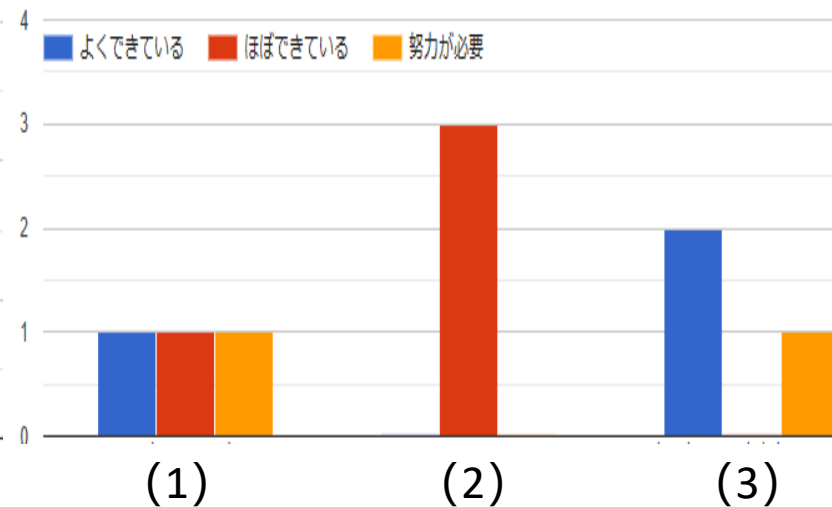
3) 保護者が参観する「行事」のときには、保護者の評価にあまりとらわれず、日常の子どものあるまを見てもらおう気持ちのゆとりを持っていますか。

【全クラス共通】保護者・地域社会・関係機関との連携について

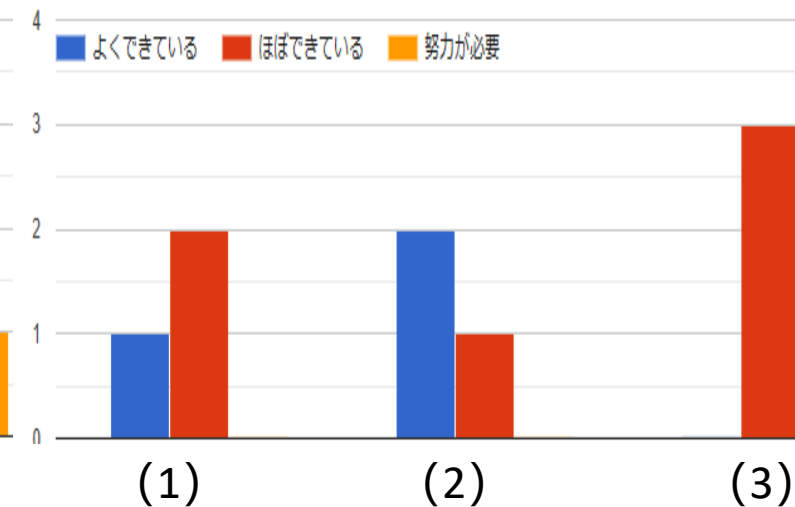
【0歳児クラス】



【1・2歳児クラス】



【3・4・5歳児クラス】



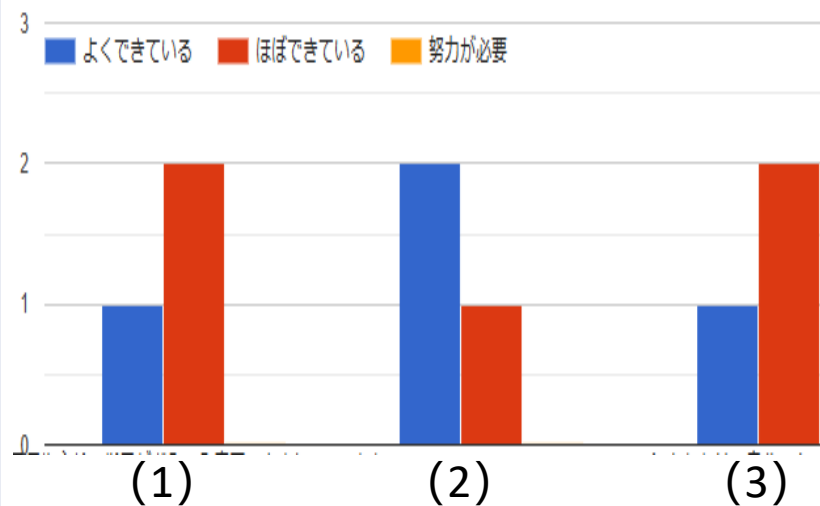
1) その日の子どもの健康状態や興味を持った遊びなど、必要に応じてお迎え時に保護者に丁寧に伝えるように努めていますか。

2) 散歩や行事などで、子どもたちが地域の人々と触れ合う機会を持つようにするとともに、気持ちよくあいさつをかわしていますか。

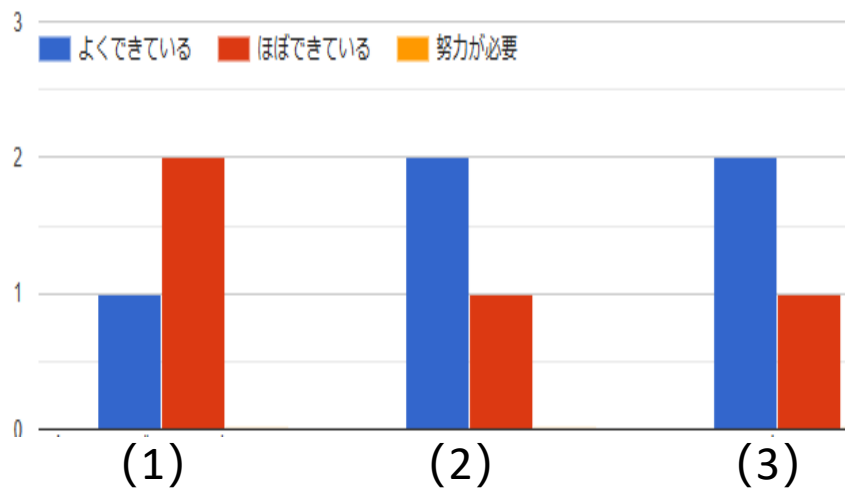
3) 保育の意図や保育内容について、保護者の理解を得る機会を設けていますか。

【全クラス共通】園の職務・役割分担について

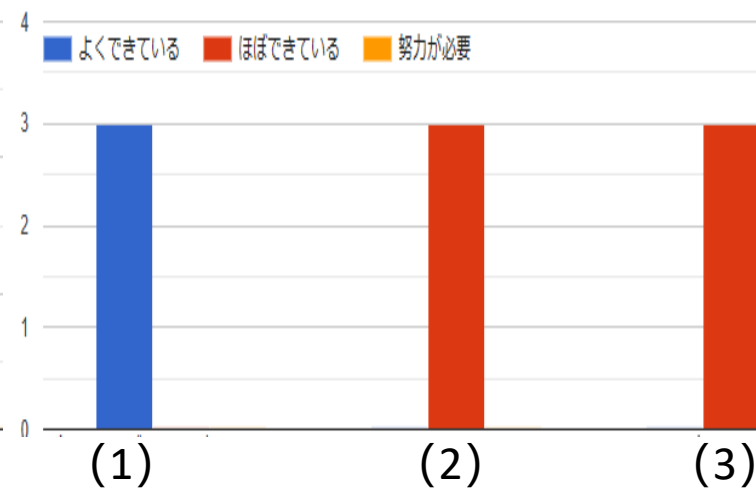
【0歳児クラス】



【1・2歳児クラス】



【3・4・5歳児クラス】



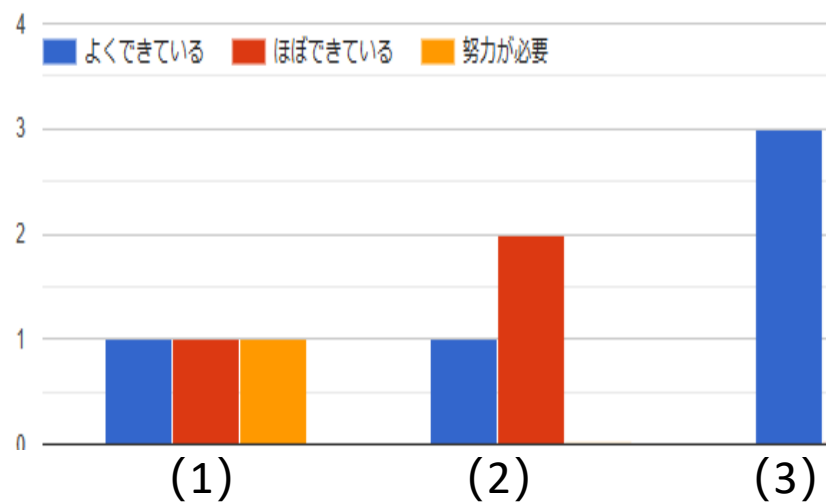
1) 園長や主幹の指示がどういう意図で出されているかわからないとき、あなたは質問をしたり意見を言ったりできますか。

2) あなたは、欠勤した日の出来事や連絡・注意事項は、自分から尋ねて理解するなど、職員間の連携に努めていますか。

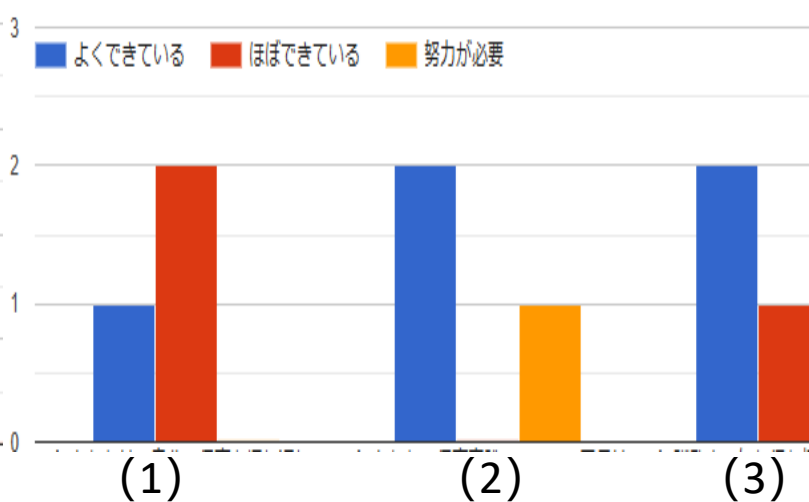
3) あなたは、自分のクラスの教材や備品を、責任をもって毎日点検・管理していますか。

【全クラス共通】保育者としての資質向上について

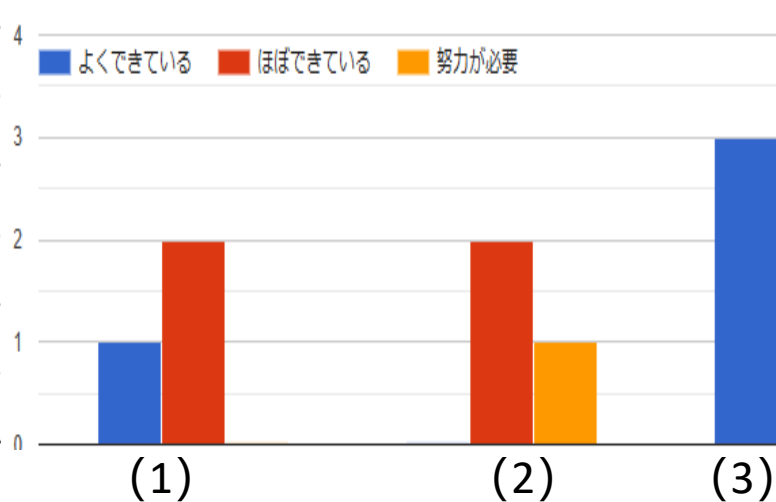
【0歳児クラス】



【1・2歳児クラス】



【3・4・5歳児クラス】



1) あなたは、自分の保育を振り返り、問題点や課題を見つけることができますか。

2) あなたの保育実践について、園長はじめ他の職員が把握できる保育日誌などの記録が書けていますか。

3) 職務上、知り得た情報の守秘義務の遵守し、子どもの人権に留意していますか。

【全クラス共通】保育実践、保育の質向上など、今後の保育・教育について話したいこと、園長や主幹へのご提案等がありましたら、ご自由にお書きください。

なし

【全クラス共通】働き方、仕事の進め方など、園の運営がよりよいものとなるようなアイデアを募集しています。ご自由にお書きください。

なし